

大谷幼稚園 10月のおたより

「当日よりもその過程」

園長 たなか たかあき 田中 貴章

大谷幼稚園の保護者の皆さま、関係者の皆さま、こんにちは。園長の田中です。9月25日に行われました運動会では、ご理解、ご協力を賜り、無事執り行うことができ誠にありがとうございました。競技や運営においても、保護者さまの意見を取り入れながら毎年改善された内容になるように努めております。もしご意見等がございましたら園までお寄せいただきたいと思います。運動会に關しましては、園では4大行事の1つと捉えています。(後の3つは、バザー・おゆうぎ会・作品展)中でも運動会は、職員間、協力業者、小学校、中学校の打ち合わせや、保護者さまへの説明やおたより、用品の発注、園児の保育計画及び導入など多岐にわたります。そういった点からも運動会は4大行事の中でも企画者を始めとする保育者の仕事量が一番多い行事です。その為、保育者にとって、行事終了後に保護者さまからの労いの言葉や、お礼のお言葉は、大変ありがたくモチベーションの維持につながっております。そして、何よりもお子さまに達成感を持ってもらうことが職業的な充実感を覚える時だと思ひます。お子さまには「当日、お父さんお母さんに格好いいところを見てもらいましょう」とか「みんな見に来ますよ」といった言葉がけを保育者からします。お子さまには、「自分が一生懸命頑張っているところを見せると、それを見て大人を喜ばせ、感動させることができる」このことの指導が大切だと思ひます。他者の存在を意識しながらも、勇気を持って自分を表現できるお子さまに成長することを各保育者は願っています。このように、各保育者は行事ごとに目標・目的をもってお子さまが取り組めるように関わりを持っていますが、各保育者の考えは、当日よりもその過程で行われている保育内容の充実が目が向けられています。お子さま達を当日にいかにきれいに見せることではなく、当日までの保育の過程で、いかに楽しみながらお子さまが積極的にその行事に取り組めるかが大切です。「行事は1日にしてならず」運動会の準備を進める保育者も毎日の事前準備の積み重ねが1つの行事の達成を導いてくれるものだと考えます。これからも大小さまざまな行事が続きますが、当日を意識しながらも、その過程で行われる保育の充実を図ってまいりたいと思ひます。

